

第19回分倍河原駅周辺まちづくり協議会（全体会） 資料

---

# 分倍河原駅周辺まちづくりの考え方

---

日時：令和5年8月4日（金）午後6時30分から  
場所：片町文化センター講堂

- 1. まちづくり基本計画について**
- 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方**
- 3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について**
- 4. 駅周辺・駅前空間の整備について**
  - **①整備の考え方**
  - **②高低差の処理**
  - **③鉄道事業者との協議**
- 5. バリアフリーの考え方**
- 6. 整備後のイメージについて**

# 1. まちづくり基本計画について



**目的**：地区の課題を解決し、まちの将来像を実現するため、**都市・地域交通戦略**と**まちづくり提案書の提言**を踏まえて策定した、**まちづくりの全体像を示す計画**

**時期**：令和2年7月策定

**まち協**：第9回（R1.7）～第12回（R2.9）で適宜報告

## 目指すまちの将来像

「にぎわいがつながり・ひろがる  
歩行者中心の 人に優しい コンパクトなまち」

- ◆方針1：生活サービスが整い、多くの人たちでにぎわうコンパクトなまち
- ◆方針2：誰もが安全・便利に移動できる歩行者中心のまち
- ◆方針3：交流や憩いの場があり、安らぎを感じられる人に優しい快適なまち

# 1. まちづくり基本計画について

## 方針図

### 生活軸

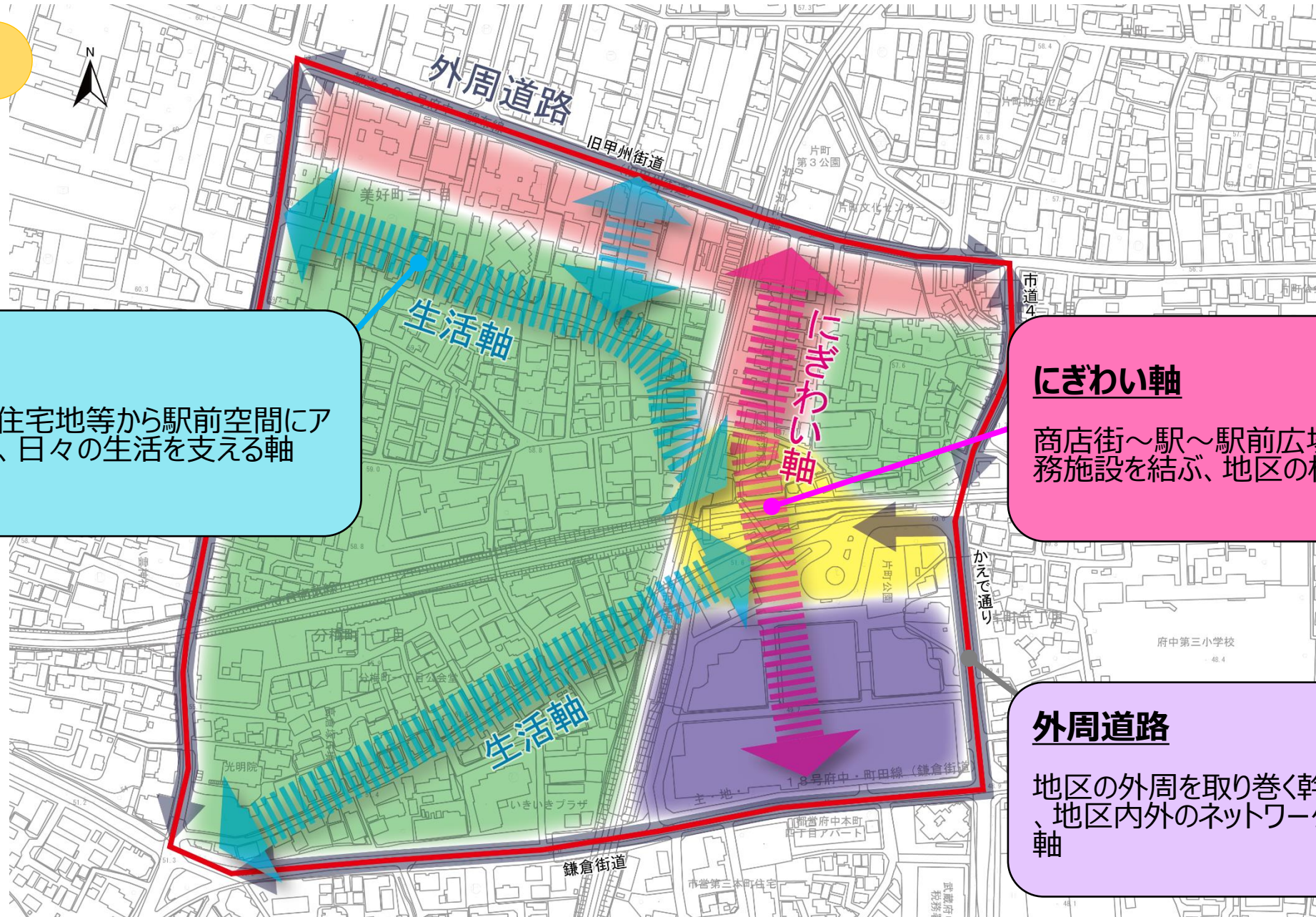
駅周辺の住宅地等から駅前空間にアクセスする、日々の生活を支える軸

### にぎわい軸

商店街～駅～駅前広場～商業・業務施設を結ぶ、地区の根幹となる軸

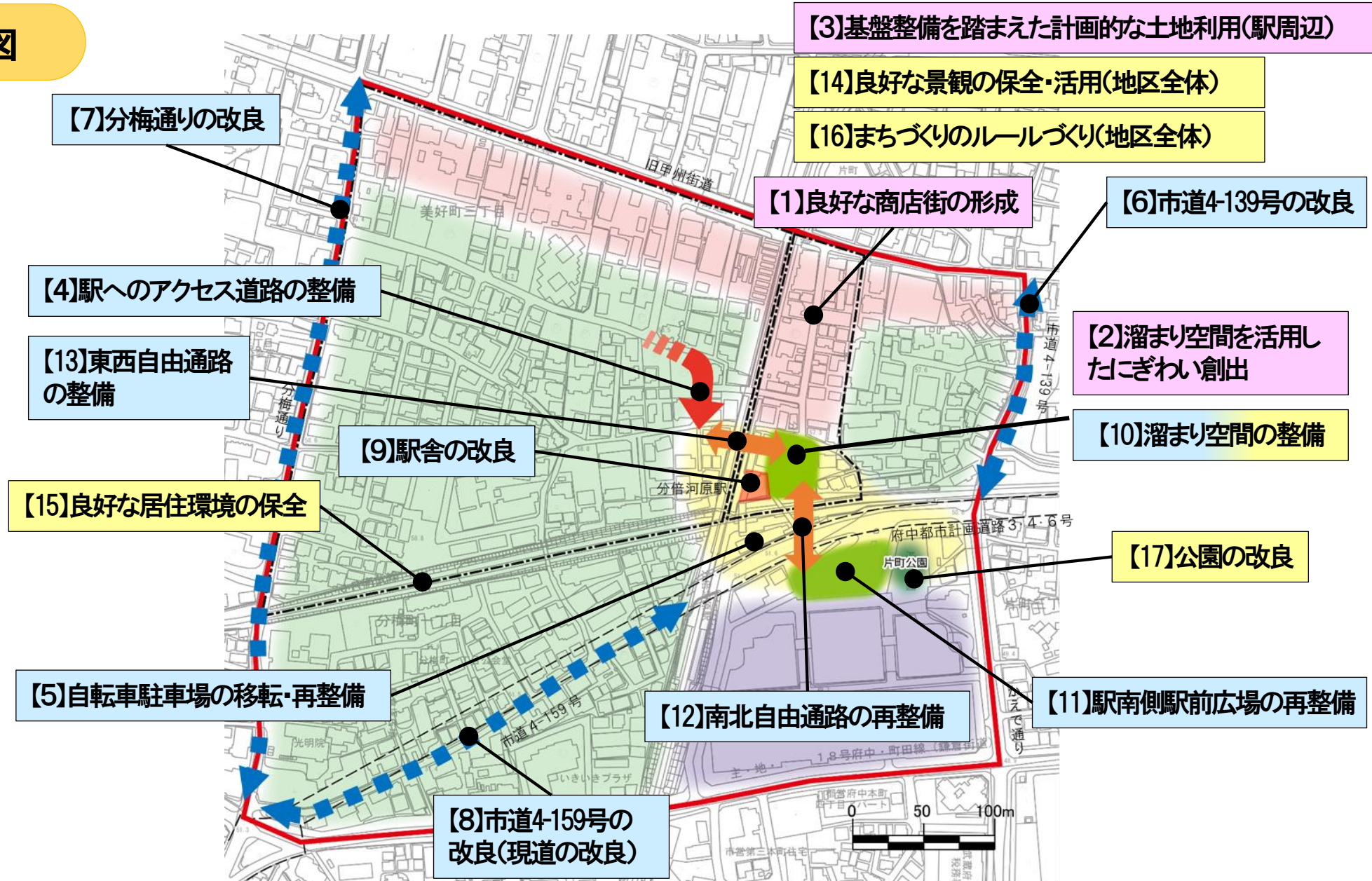
### 外周道路

地区の外周を取り巻く幹線道路として、地区内外のネットワークを形成する軸



# 1. まちづくり基本計画について

## 施策図



# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ー ①整備の考え方
  - ー ②高低差の処理
  - ー ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

Q. なぜ、歩行者中心のまちづくりを進めていく必要があるの？

- ⇒ ④ H29のヒアリング調査では、駅周辺道路が「歩みにくい」と回答した人が7割に上りました。（＝歩行者の安全対策が重要）
- ⇒ まちづくり協議会からいただいたまちづくり提案書において、駅前空間は「人のための駅前広場の確保」をするよう提案されています。
- ⇒ まちづくり基本計画では、まちづくりの方針として「誰もが安全・便利に移動できる歩行者中心のまち」を掲げている。



## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

Q. 自転車が使えないと困るんだけど、自転車はどうするの？

⇒ まちづくり提案書においては、「歩行者や自転車が安全に通行できる外周道路、地区内道路の整備」を提案いただいています。

⇒ 都市・地域交通戦略では、  
目標2として、「安全・便利に利用でき、歩行者と共存し得る自転車利用環境の充実」を掲げています。

## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

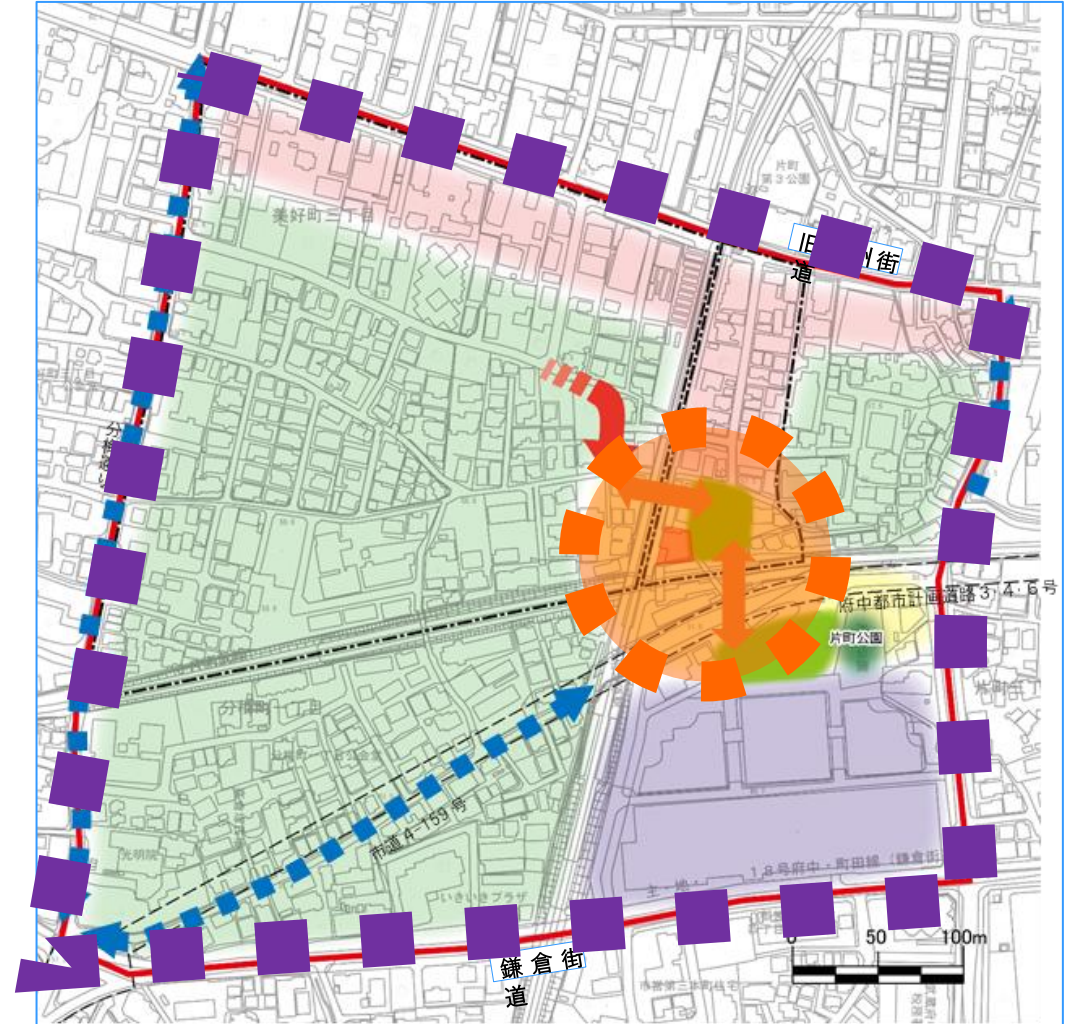
つまり…

まちづくり提案書や交通戦略から

駅周辺・駅前空間では、  
歩行者中心のまちづくりを

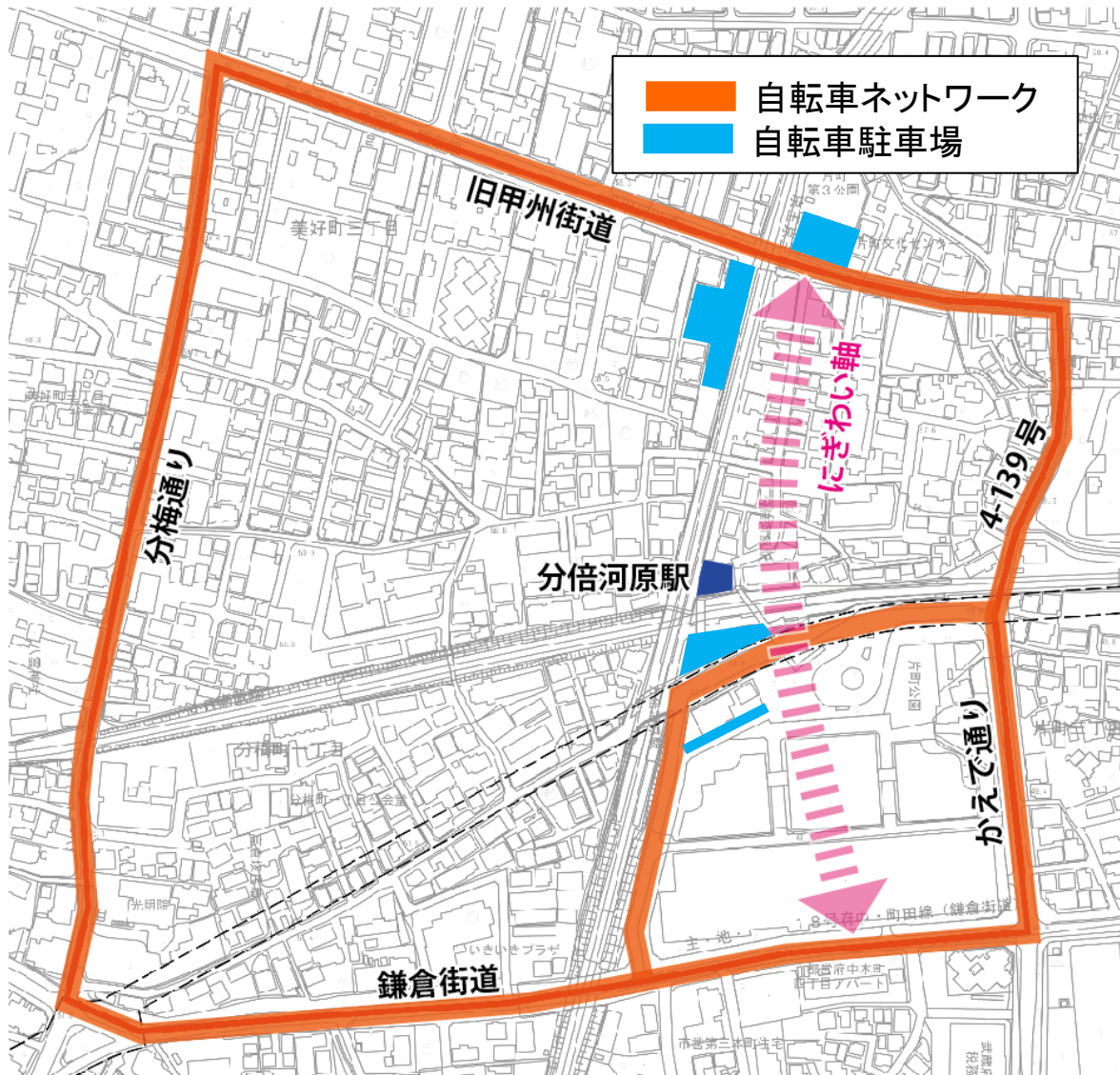
それ以外の場所では、  
自転車利用者も含めたまちづ  
くりを

行っています。



## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

自転車ネットワーク概念図(交通戦略より)

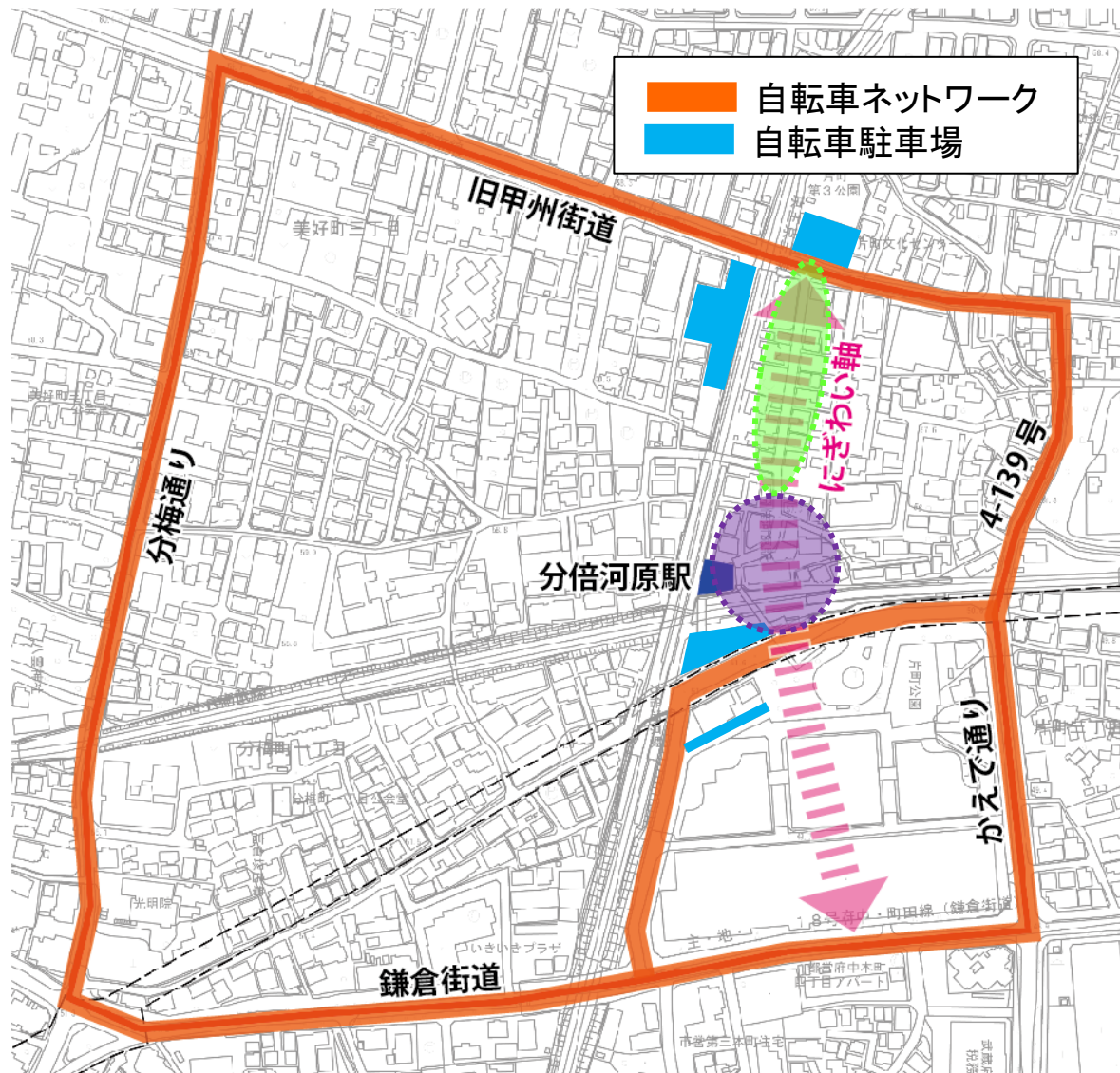


### 自転車利用者に関する施策

- 分梅通り… R 4 整備済み  
⇒歩行者のため歩道幅員を確保するとともに、道路に**自転車ナビマーク**の標示などを行い、安全性の向上を図った。
- 4-139号… R 8～工事予定  
(用地買収が必要)  
⇒道路を拡幅し、**自転車走行空間**を確保していく。

## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

自転車ネットワーク概念図(交通戦略より)



Q. 駅周辺・駅前空間はどうしても自転車は通れないの？

⇒基本的には、外周道路を通過していただく計画ですが、**まちづくり提案書**では、南北自由通路の自転車利用が想定されているため、**溜まり空間・南北自由通路は自転車押し歩きで通行可能**としています。

⇒**商店街はまちづくりルール**で定めるか検討が必要です。

## 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

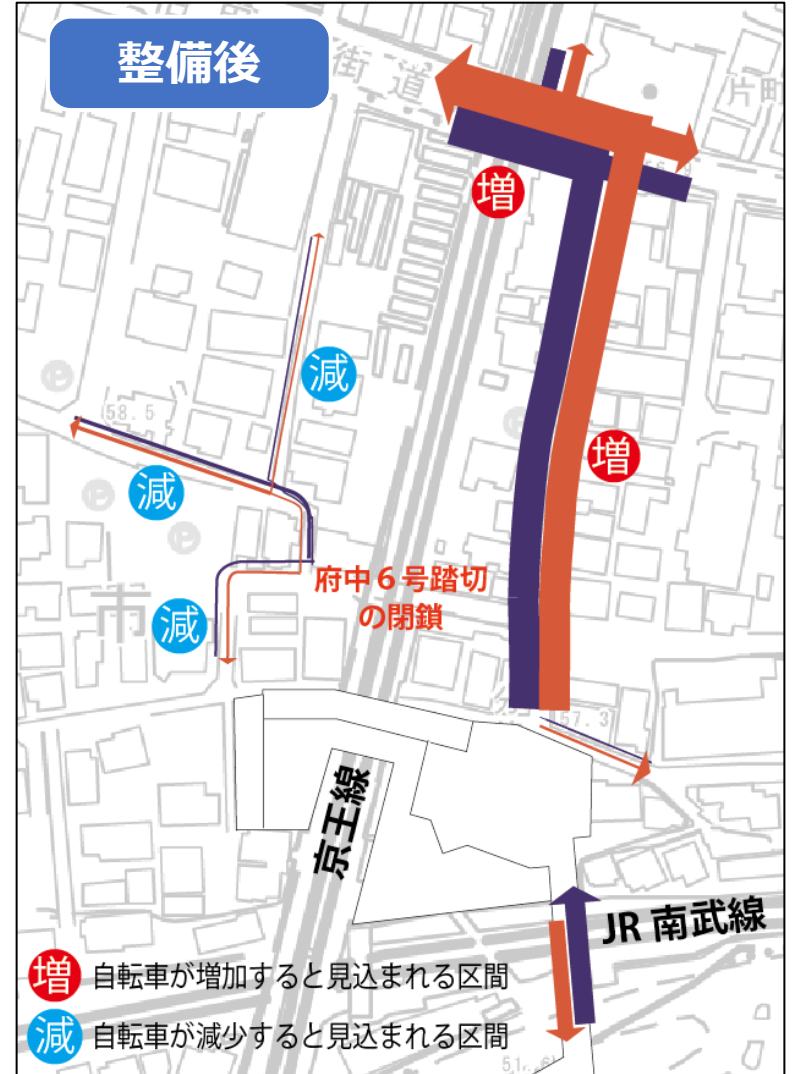
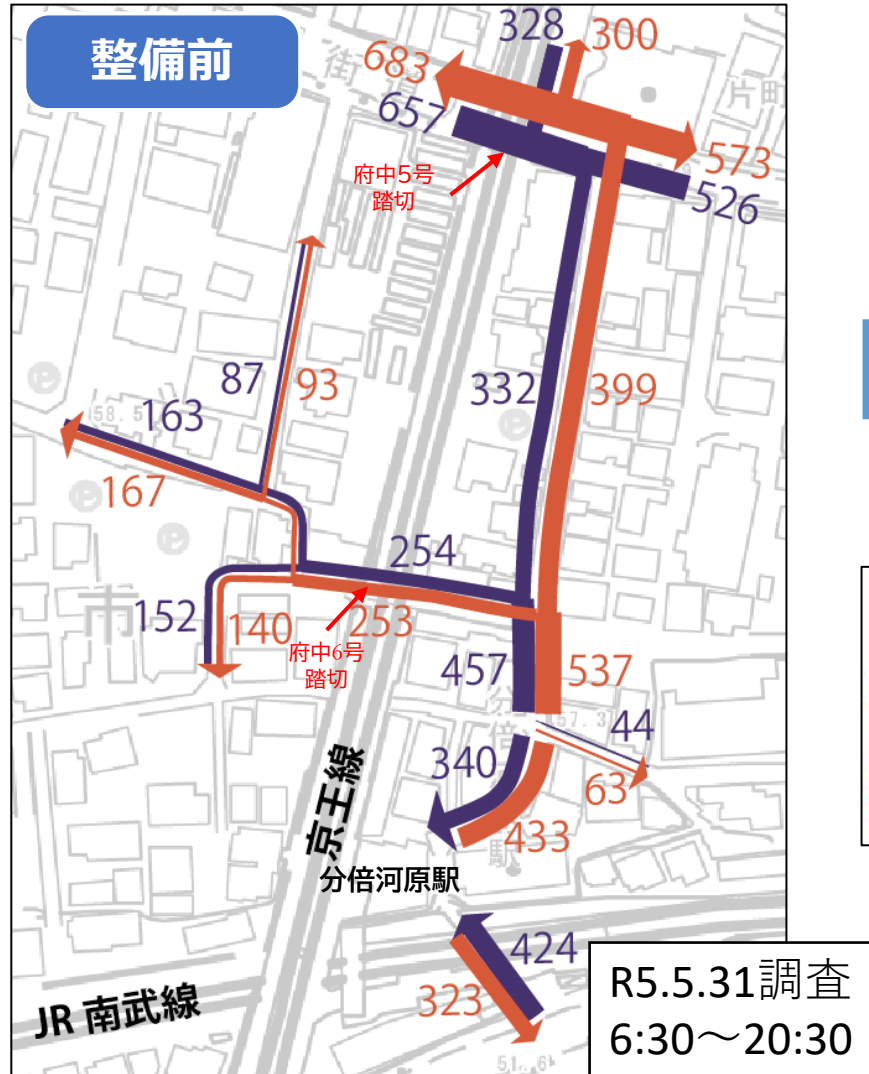
Q. 整備される東西自由通路は自転車を通れないのか？商店街の踏切も閉鎖されると聞いている。

⇒ 駅周辺では、まちづくり提案書やまちづくり基本計画により、歩行者中心のまちづくりを行っています。ただし、前述したように、商店街や南北自由通路では、にぎわい軸の考え方から、歩行者の安全に配慮できる自転車押し歩きでの通行を可能としています。一方で、東西自由通路は自転車の押し歩きも含めて、自転車の通行は検討していません。

また、踏切については、市と鉄道事業者が協議を行い検討すると伺っていることから、今後協議を進めていくこととなります。

# 2. 歩行者中心のまちづくりの考え方

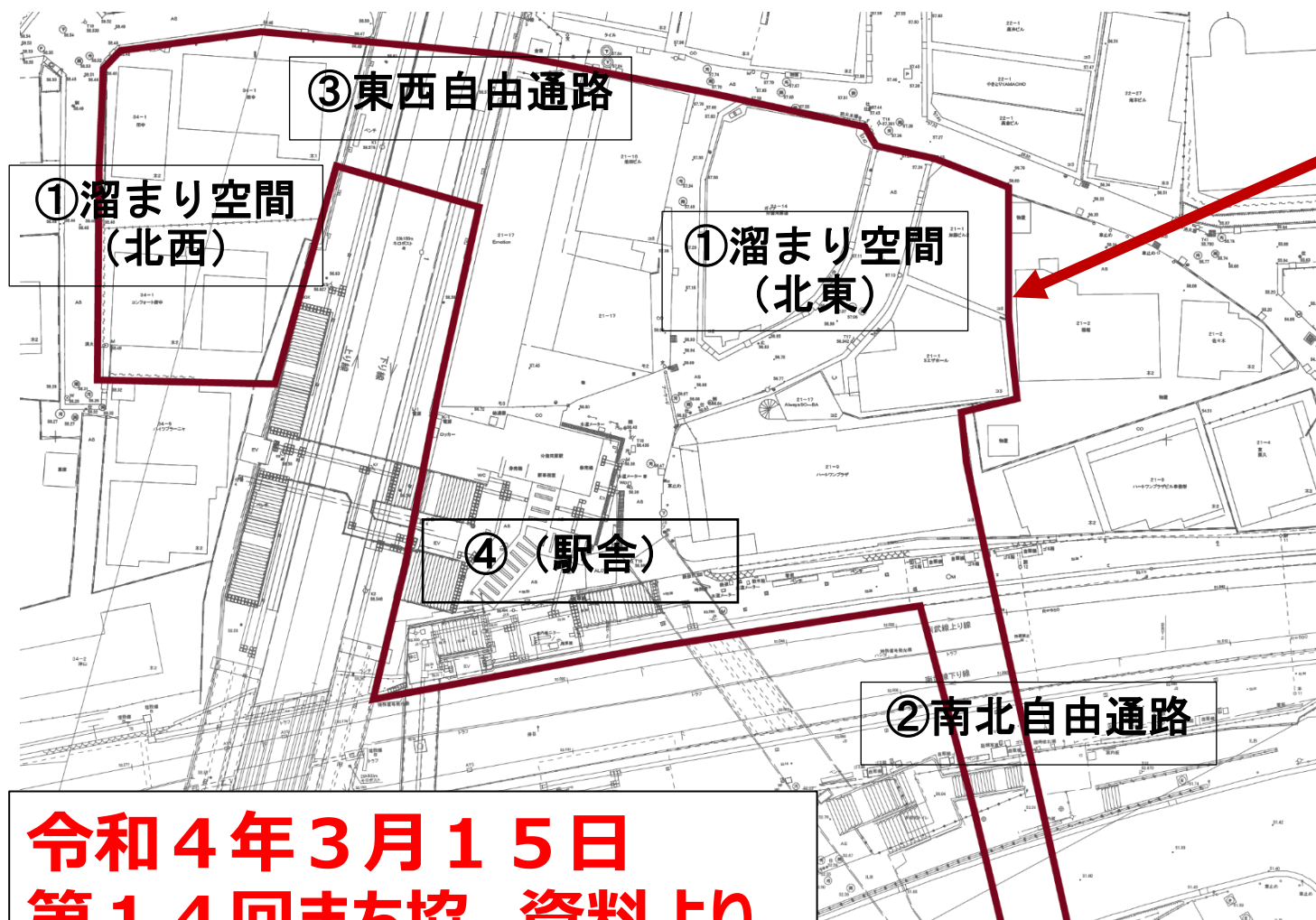
## 整備前後の自転車動線イメージ図



# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ①整備の考え方
  - ②高低差の処理
  - ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

# 3. 駅周辺・駅前空間の整備範囲について



## 整備範囲

- ①溜まり空間
- ②南北自由通路
- ③東西自由通路
- ④駅舎

## =用地取得範囲

①～③は道路として整備し、議会報告を行う予定です。

令和4年3月15日  
第14回まち協 資料より



### 3. 駅周辺・駅前空間の整備範囲について

参考に・・・

VR（バーチャルリアリティ）  
で作成した動画①

でご説明します。

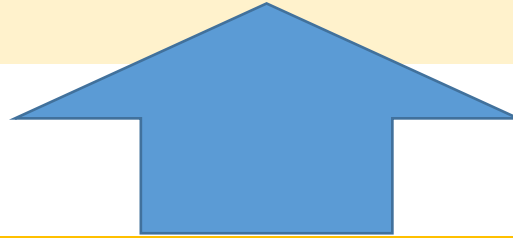
# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ① 整備の考え方
  - ② 高低差の処理
  - ③ 鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

## 4. 駅周辺・駅前空間の整備について（①整備の考え方）

### 駅周辺・駅前空間の整備の考え方（まちづくり基本計画より）

- 駅前には歩行者が待機する場所や、救援活動を行う空間を確保するため、緊急車両の転回スペース等にも配慮した、安全で快適な歩行者のための空間



### まちづくり提案書より

- 人のための駅前広場の確保
  - ・滞留空間や休憩スペースの確保
  - ・緊急車両の転回スペース
  - ・にぎわい創出のための空間
  - ・バリアフリー化

# 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (①整備の考え方)

## 【参考】

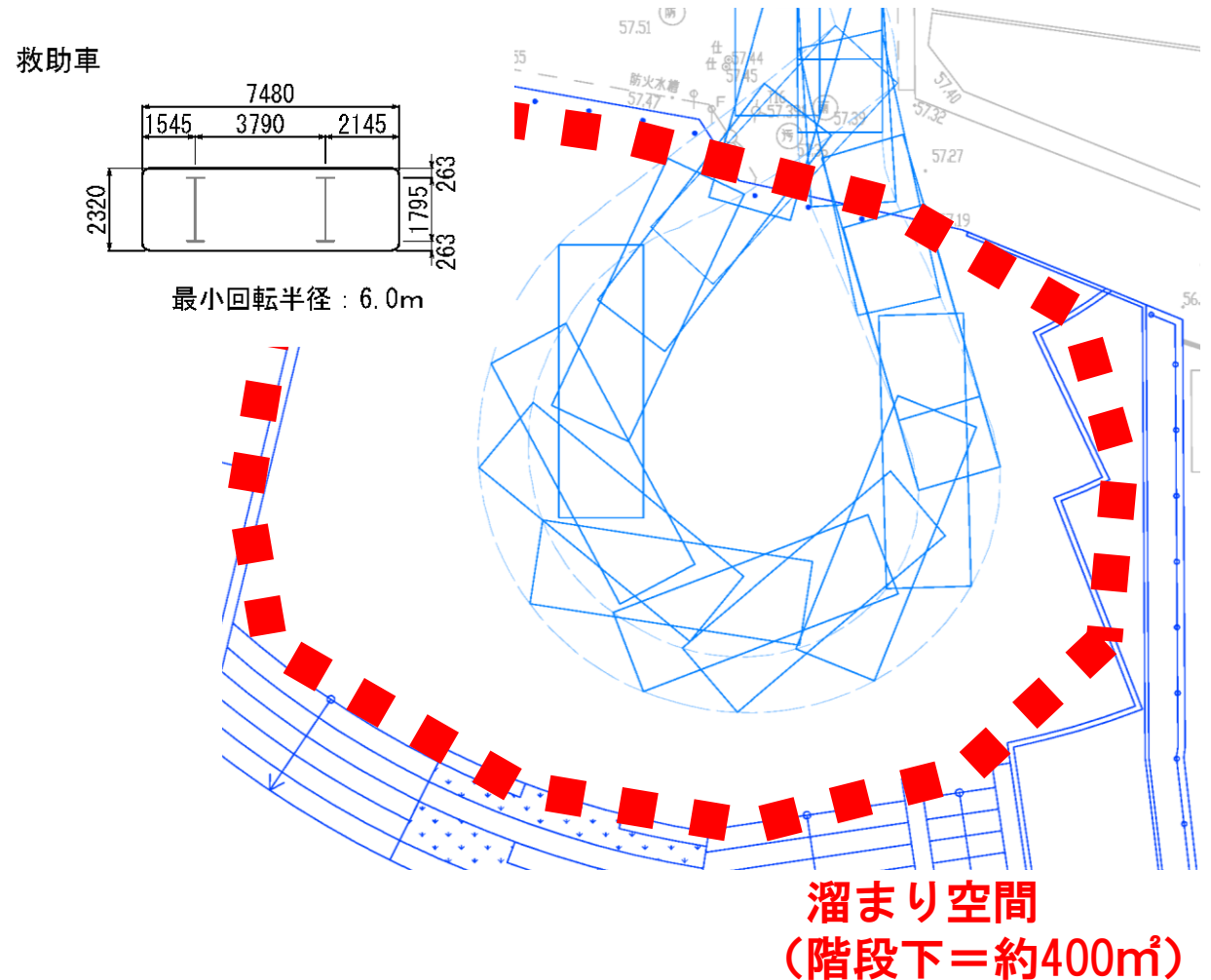
### ②にぎわい創出のための空間

⇒様々なイベントに対応できるように、**階段下部分を約400m<sup>2</sup>のオープンスペースを確保した。**

### ③緊急車両の転回スペース

⇒②右図のように**消防車両が転回できるように設計**

## ＜参考＞溜まり空間における消防車両の転回イメージ



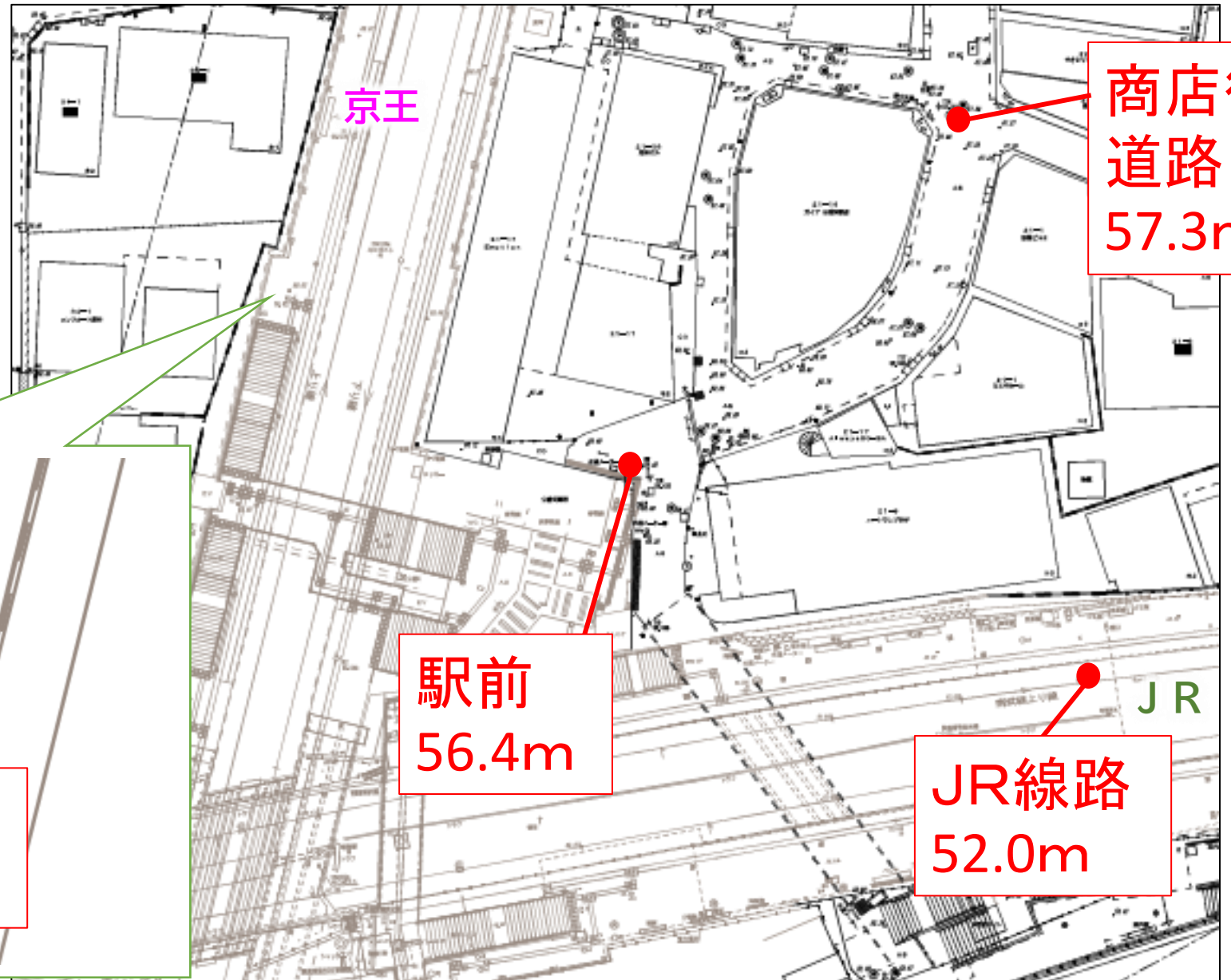
# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ①整備の考え方
  - ②高低差の処理
  - ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

## 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (②高低差の処理)

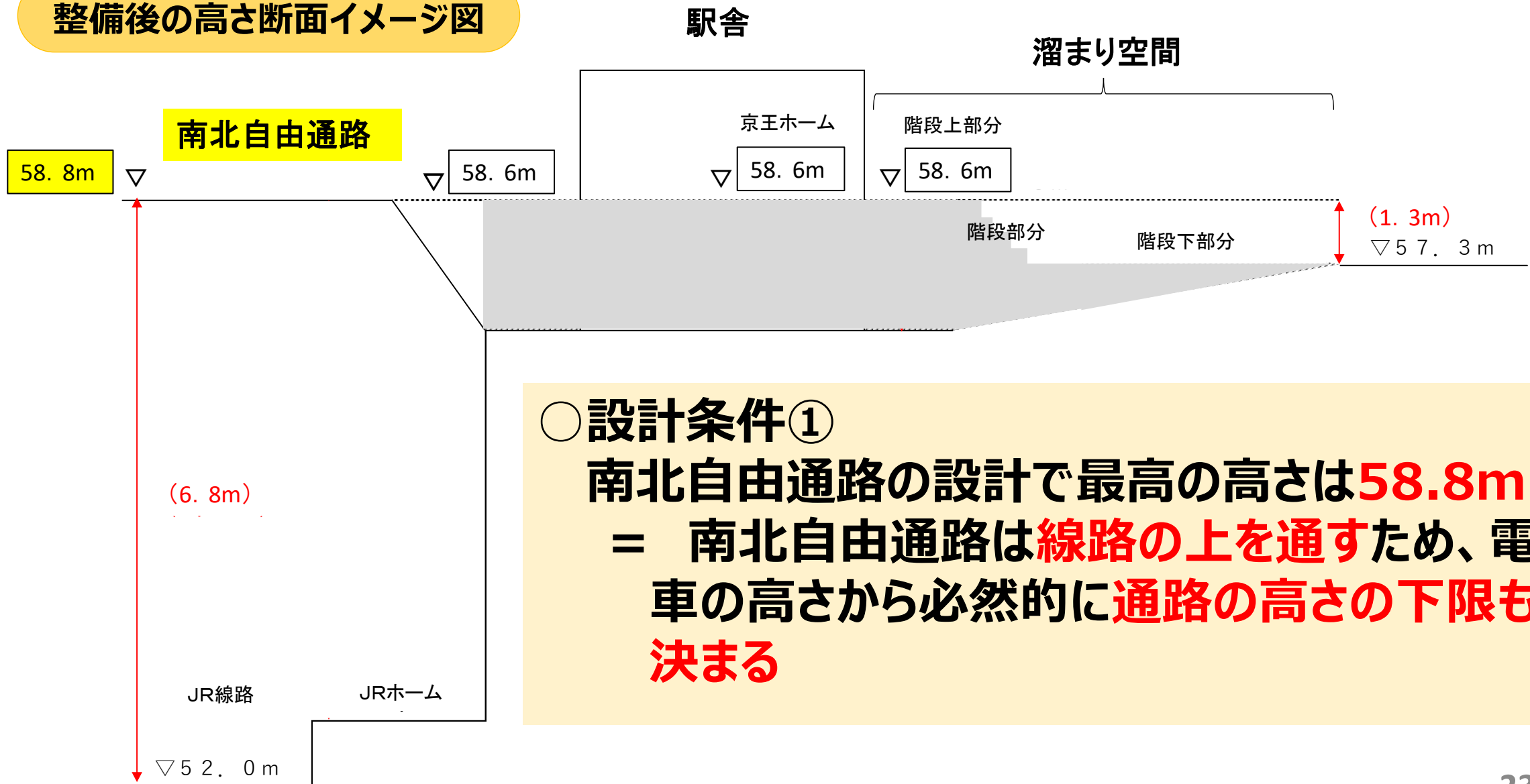
【参考】  
H30実施の  
現況測量図より

● m  
= 東京湾からの高さ



# 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (②高低差の処理)

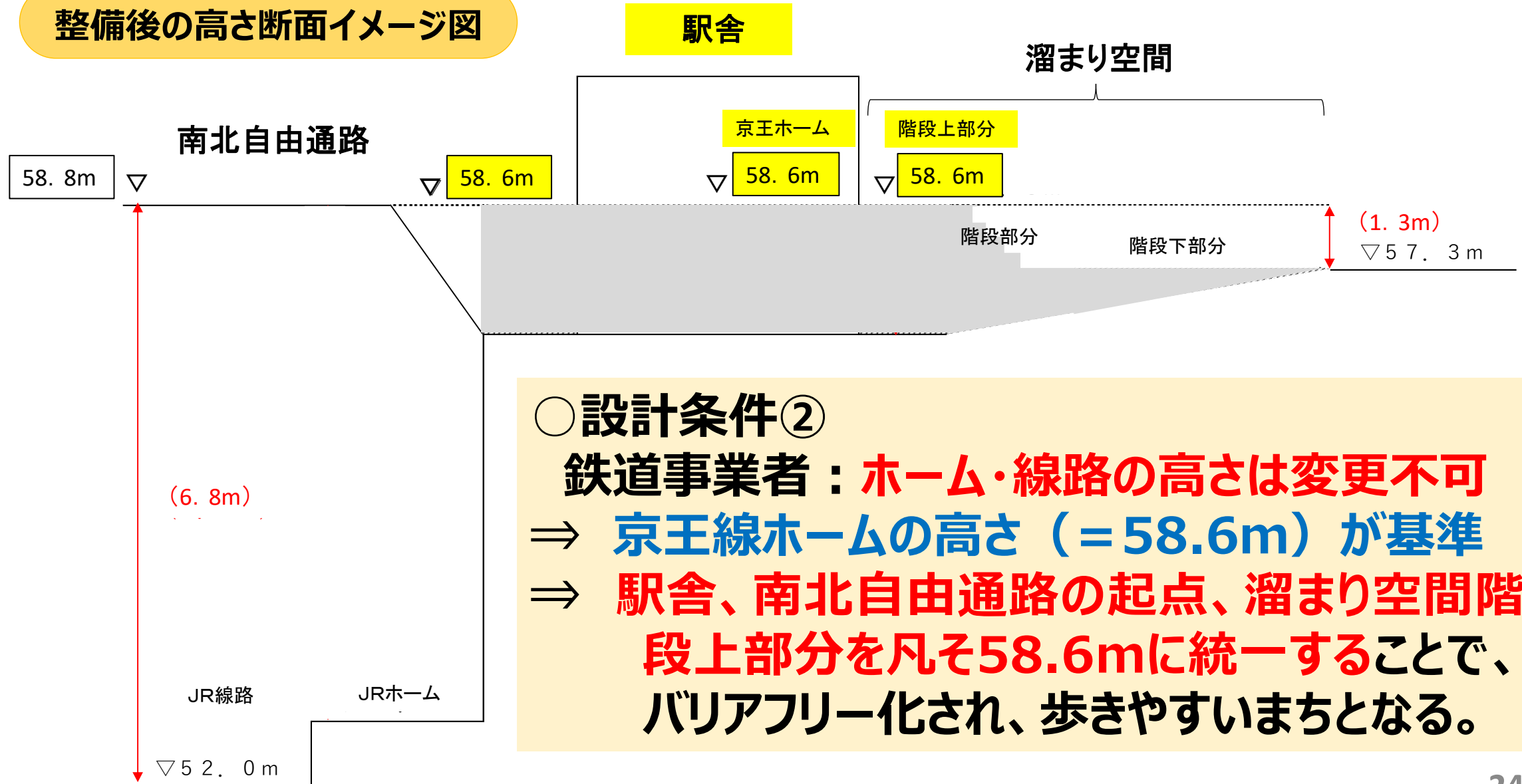
整備後の高さ断面イメージ図



- 設計条件①  
南北自由通路の設計で最高の高さは**58.8m**  
= 南北自由通路は**線路の上を通すため**、**電車の高さから必然的に通路の高さの下限も決まる**

# 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (②高低差の処理)

整備後の高さ断面イメージ図



## ○設計条件②

**鉄道事業者：ホーム・線路の高さは変更不可**

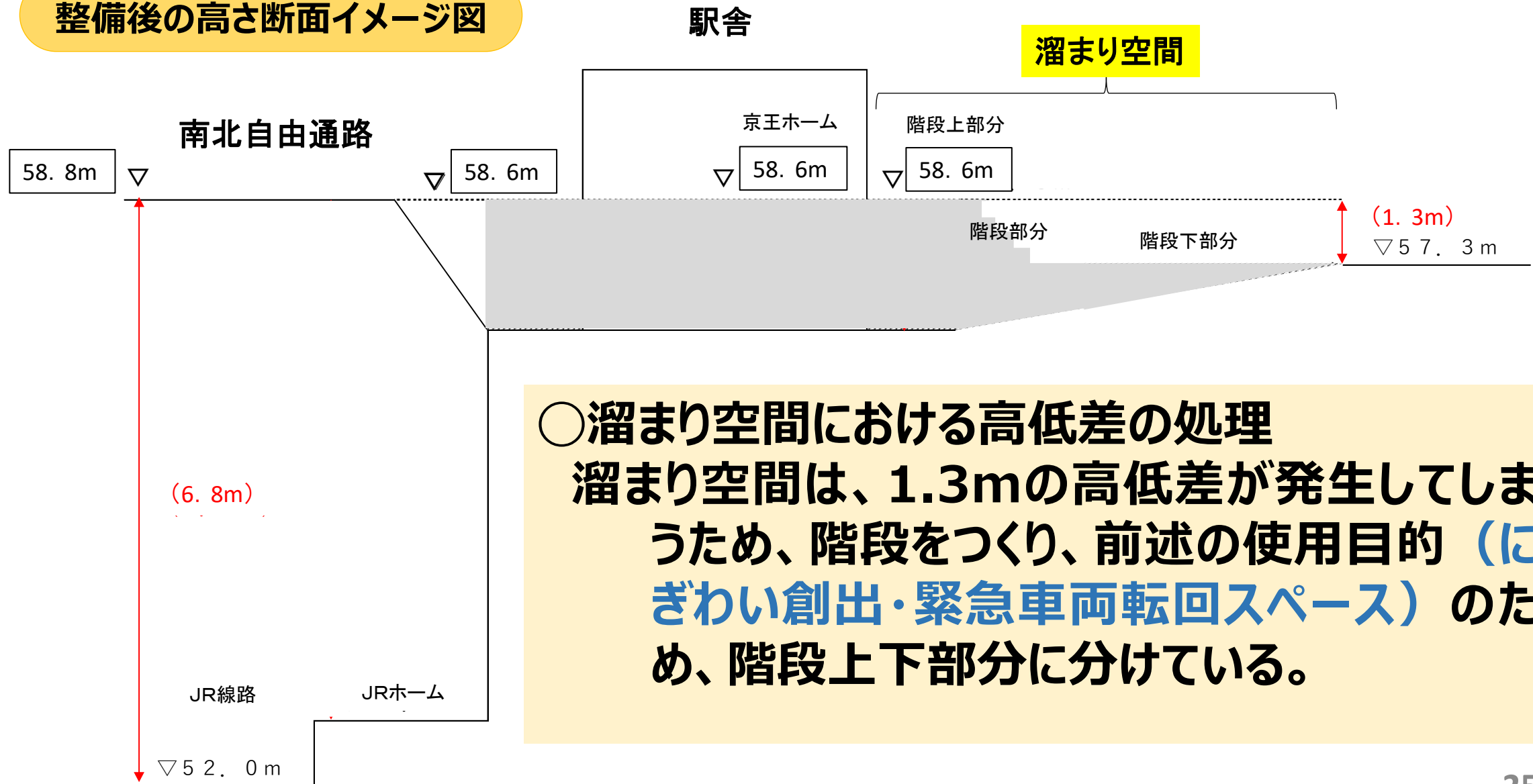
⇒ **京王線ホームの高さ (=58.6m) が基準**

⇒ **駅舎、南北自由通路の起点、溜まり空間階段上部分を凡そ58.6mに統一することで、バリアフリー化され、歩きやすいまちとなる。**



# 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (②高低差の処理)

整備後の高さ断面イメージ図



- 溜まり空間における高低差の処理  
溜まり空間は、1.3mの高低差が発生してしまうため、階段をつくり、前述の使用目的（にぎわい創出・緊急車両転回スペース）のため、階段上下部分に分けている。

# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ー ①整備の考え方
  - ー ②高低差の処理
  - ー ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

## 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (③鉄道事業者との協議)

### ○鉄道事業者（JR・京王）との協議経過

- H27～ 鉄道事業者と協議開始  
(意見交換会や検討会議など適宜開催)
- H30～ 調査設計の開始 (R2まで)
- H30.5 都市・地域交通戦略の策定
- R2.7 まちづくり基本計画の策定
- R3.3 鉄道事業者との基本事項の合意に向けた覚書締結
- R4.4 都市・地域交通戦略協議会の開催 (現在も)
- R4.9 鉄道事業者との基本協定締結
- R5～ 基本設計の開始

## 4. 駅周辺・駅前空間の整備について (③鉄道事業者との協議)

### 【参考】

#### ○まちづくり協議会への報告経過

|                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 第13回 (R 3 / 10 / 8)  | 鉄道との覚書締結の報告            |
| 第14回 (R 4 / 3 / 15)  | 溜まり空間イメージ図の公表          |
| 第15回 (R 4 / 5 / 12)  | 溜まり空間整備の考え方            |
| 第16回 (R 4 / 10 / 18) | 鉄道との <b>基本協定</b> 締結の報告 |
| 第18回 (R 5 / 6 / 28)  | 溜まり空間基本設計に向けた意見聴取      |

# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ー ①整備の考え方
  - ー ②高低差の処理
  - ー ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

参考に・・・

VR（バーチャルリアリティ）  
で作成した動画②

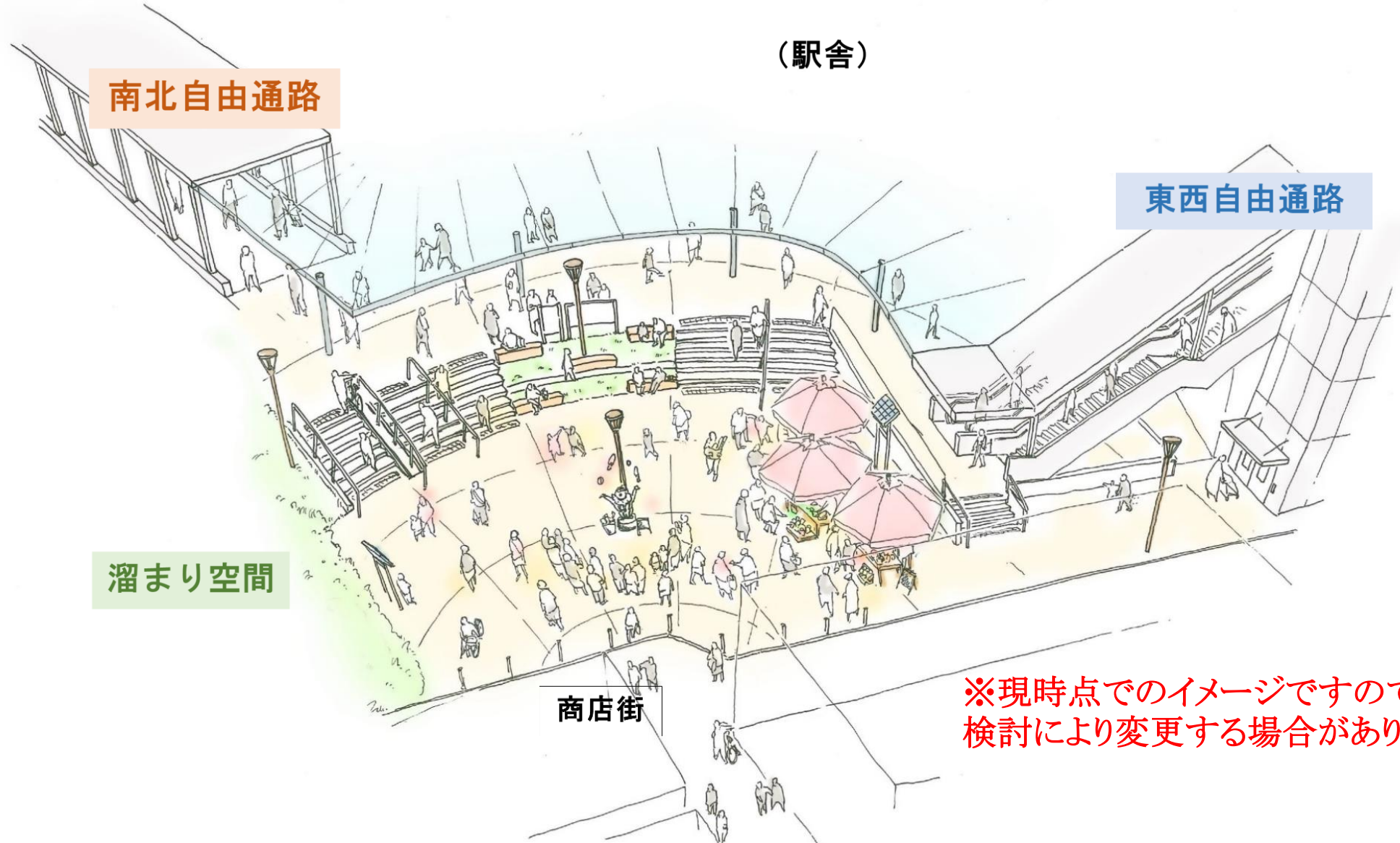
でご説明します。

# 本日の説明内容

1. まちづくり基本計画について
2. 歩行者中心のまちづくりの考え方
3. 駅周辺・駅前空間の整備の範囲について
4. 駅周辺・駅前空間の整備について
  - ①整備の考え方
  - ②高低差の処理
  - ③鉄道事業者との協議
5. バリアフリーの考え方
6. 整備後のイメージについて

# 6. 整備後のイメージについて

## 溜まり空間のイメージ図



※現時点でのイメージですので、今後の検討により変更する場合があります。



# 6. 整備後のイメージについて

溜まり空間（東側）のにぎわいイメージ

空間が広いから待ち合  
わせもスムーズさ！

スロープがあるので自転車  
の押し歩きも楽チン

マルシェで買った新鮮野菜で  
おいしいサラダをつくるよ。

今日は天気が良いから  
ベンチでゆったり座ってるよ！

エスカレーターがあるから  
高低差も気にならないね。

エレベーターがある  
から、ベビーカーで  
も安心。

## 6. 整備後のイメージについて

### まとめると…

現在の計画や整備範囲については、まちが抱える課題を解決するため、**まちづくり提案書でいただいた提言**をできる限り実現することを第一とし、**鉄道事業者と積み上げてきた協議**や道路構造令など法令を踏まえて、総合的な観点により**必要最小限の範囲で最大限の効果**を生み出すべく検討している案です。

⇒ **引き続き、今後のまちづくり協議会においても適宜進捗状況の報告を行ってまいりますので、ご理解をお願いします。**

最後に・・・

VR（バーチャルリアリティ）  
で作成した動画③

をご覧ください。